

ぎん ばん しゃ しん

銀板写真 (松前勘解由と従者像 附 添状)

まつまえ かげ ゆ じゅうしゃぞう つけたり そえじょう

■指定年月日／平成18年6月19日
 ■所在／松前町神明
 ■管理者／松前町



松前勘解由と従者像

松前^{かげゆ}勘解由は、安政元年(1854)のペリー箱館来航時には、松前藩主席応接使の任にあった家老である。安政元年(1854)ペリー艦隊従軍写真家E・ブラウン・ジュニアによって撮影された。写真はダゲレオタイプ(銀板写真)である。当時400~500枚が撮影されたと伝えられる中の、現存する5枚のうち1枚で、日本最古の銀板写真である。写真は銅板に銀メッキを施し、画面は14×10cm、革張りケースの中に金属の額縁によって収められている。写真下隅には、“E Brown Jr Hakotadi gapan 1854”のサインが彫り込まれている。



銀板写真(内部)



写真ケース(表)



銀板写真サイン部分